

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和7年度市民による市政評価
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」のもと、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対するご意見をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働まちづくりを進めるための基礎資料として活用させていただきます。

令和7年度は、第2次大仙市総合計画の最終年度であり、次期計画の策定に向けた大切なタイミングでもありますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

令和 7年 4月
大仙市長 老 松 博 行

《回答にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、16歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。 ※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆ **5月22日(木)**までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

スマートフォンまたはパソコンを持っていますか？

はい

インターネット回答



左の2次元コードを読み込んでください。
または、次のURLを直接入力してください。
<URL>
<https://ttzk.graffer.jp/city-daisen/smartapply/surveys/0001507412398590998>

いいえ

調査票回答

- ・同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)
- ・返信用封筒の宛先は、大仙市がアンケートを委託した『(株)あきぎんリサーチ&コンサルティング』となっています。

- ◆このアンケートは、『株式会社 あきぎんリサーチ&コンサルティング』に委託して実施しています。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

<実施主体> 大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

・あなたの現在の就業状況を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------------------|--------------|-------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. 自営業・家族従業者(農林業含む) | 3. パート・アルバイト | |
| 4. 派遣・契約社員 | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生(高校生含む) | 7. 無職 |
| 8. その他() | | | |

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

・あなたの家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦世帯 | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他() | |

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、5月22日(木)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

I 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
魅力ある産業振興・雇用のまちを創ります！	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和7年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R5 380人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R5 204億円
製造品出荷額等※1	H26 646億9千万円 → R3 959億6千万円
新規雇用創出数※2	H27～R5の累計 837人
新規誘致企業数	H27～R6の累計 17社
創業者数	H27～R5の累計 142人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R5 12億2千2百万円
観光入込客数※3	H26 263万1千人 → R5 165万8千人
Aターン就職者数※4	H27～R5の累計 654人

※1 製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及びくず・廃物の出荷額の合計

※2 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人の合計

※3 コロナ禍の影響による減少

※4 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。									
	②	【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。									
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。									
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。									
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。									
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。									

大仙市の現状・取組状況

【令和7年4月1日現在】

出会い・結婚・子育てに関する市民満足度	H27 3.10 → R6 3.19
不妊治療による出産数	H27～R5の累計 185件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R6 60人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R6 37箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → R5 44.2%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27 106人 → R6 222人
全国500歳野球大会参加チーム数	R6 32チーム（県外25チーム、県内7チーム）
スポーツ合宿実施団体数	H27 15団体 → R6 12団体

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよ 安全・安心、まちを築きます！ 都市整備など	①	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。					5	4	3	2	1
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	③	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。					5	4	3	2	1
	④	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。					5	4	3	2	1
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	⑧	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。					5	4	3	2	1
	⑨	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。					5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和7年4月1日現在】

自主防災組織の組織率

H26 67.5% → R6 91.6%

地域公共交通運行状況

地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R6利用実績 循環バス 15,381人 コミュニティバス 34,100人 乗合タクシー 12,137人

市ホームページ閲覧数

H26 64万9千人 → R6 300万1千人

都市計画道路整備率

H26 59.8% → R6 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数

H28～R6の累計 3,386件

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。									
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。									
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。									
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市、台湾新北市との間で多様な交流を行っています。									

大仙市の現状・取組状況

【令和7年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R5 63人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R6 12人
学校のトイレ改修率（洋式化）	H27 73.0% → R5 96.1%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R6 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数	H27 116,772人 → R5 74,134人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R6 165団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R6 14回
国内外交流自治体数	R6現在 5団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市、台湾新北市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校間の交流。

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
V 時代 に 合 っ た 地 域 社 会 の 維 持 ・ 活 性 化 、 行 政 運 営 な ど	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。					5	4	3	2	1
	②	【移住・定住】 無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働・共創のまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1
	④	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。					5	4	3	2	1
	⑤	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。					5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和7年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → R6 95件
地域おこし協力隊員数	H27～R6の累計 13人（うち5人が定住、4人が活動中）
本市への移住者数※1	R2～R6の累計 1,964人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R6 154件
市職員数	H27 992人 → R6 838人
ふるさと納税寄付額	H27 901万3千円 → R6 7億9百万円
財政力指数※2	H27 0.342 → R6 0.349
将来負担比率※3	H27 136.9% → R5 72.4%
全会計市債現在高	H27 991億7千5百万円 → R5 763億3百万円

※1 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市に居住する意思のある定住希望者

※2 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※3 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1

あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業の振興 |
| 9. 若者の起業促進 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用の安定と就労環境の充実 | 14. 外国人を含む観光誘客 |
| 15. その他() | |

問2

あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの充実 |
| 3. 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 4. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり |
| 5. 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 6. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の強化 | 12. ワーク・ライフ・バランスの実現 |
| 13. その他() | |

問3

あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくり | 2. こころの健康づくり |
| 3. 地域医療体制の充実・強化 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの充実 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の強化 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な運用 |
| 13. スポーツ活動の活性化 | 14. スポーツ環境の充実 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギーの導入 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保と活動の活発化 |
| 7. 地域防災体制の整備・強化 | 8. 水害対策設備の充実 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪設備の充実 |
| 11. 空き家の適正管理と利活用 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の取組 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | |
| 8. 住生活環境の充実 | 9. 住宅の耐震化率向上 |
| 10. 情報基盤の整備による地域情報化 | 11. 安全で安定した水道水の供給 |
| 12. 下水道施設の適正管理と更新 | 13. 下水道未普及地区の解消 |
| 14. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 4. 家庭教育の充実 |
| 5. 地域と連携したふるさと教育 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. デジタルを活用した学習環境の充実 | 8. 生涯学習の機会拡大・情報発信 |
| 9. 芸術、文化活動の振興 | 10. 文化財の保全と活用 |
| 11. 非核平和の啓発 | 12. 他自治体との連携・交流 |
| 13. 国際交流の促進 | |
| 14. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行財政運営分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加機会の拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動の促進 |
| 5. 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住の促進 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の形成 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供や公開の充実 | 12. 各種行政手続きのデジタル化 |
| 13. 利用状況等に合わせた公共施設の見直し | 14. 公文書の保存・公開 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。これまで、各種証明書のコンビニ交付サービス、市役所窓口での発行手数料のキャッシュレス化、市公式LINEアカウントから各種オンライン申請が可能となる機能追加や、公共施設オンライン予約サービスの導入などに取り組んできました。

人口減少が進行する中であっても、持続可能で質の高い行政サービスを提供し続けていくためには、あらゆる場面におけるデジタル化が急務となっています。デジタルに不慣れな方のサポートや対面による窓口サービスの充実に努めながら、「誰一人取り残されない人にやさしいデジタル化」を推進するにあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがその情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ)あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4

あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
4. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
5. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
6. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
7. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・意見等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

テーマⅠ 広報活動について

市では、市民の理解と信頼に基づく公正で開かれた市政の発展に資することを目的に、市広報紙「だいせん日和」の発行をはじめ、ホームページ、SNS、コミュニティFM、アプリ等を活用して、市の施策等に関する情報を分かりやすく提供することに努めてきました。

一方で、広報紙をはじめとする行政刊行物の配布に携わる行政協力員の担い手不足や、近年のSNS等の普及に伴う情報入手手段の多様化など、広報紙等を取りまく環境が変化しています。

本調査では、幅広い年代の生活スタイルに即した広報活動を行うために市民の皆さまのご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。

問Ⅰ

これまで市では、市広報「だいせん日和」を紙版の全戸配布のほかに、WEBやアプリから閲覧できるデジタル版でも配信してきました。市広報「だいせん日和」をどのようにして見えていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 自宅に配布される広報紙を見る | 2. 公共施設等の外出先にある広報紙を見る |
| 3. 市ホームページから見る | 4. 市公式LINEから見る |
| 5. 広報閲覧アプリで見る | 6. その他() |
| 7. 見ない | |

問Ⅰ-Ⅰ

今後、さらに人口減少が進み、個人の考え方が多様化する中、行政協力員の担い手不足も懸念されます。また、情報入手手段が多様化し、広報紙のあり方を見直しせざるを得ない状況になりつつあります。広報紙をデジタル版に切り替えることについてどう思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. デジタル版と広報紙の両方が必要 | 2. デジタル版のみでよい |
| 3. 広報紙のみでよい | 4. 両方不要 |

問2

コミュニティFM「FMはなび」を聞いたことがありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく聴いている | 2. とくとき聴いている |
| 3. ほとんど聴かない | 4. 聴いたことがない |

→ 「3. ほとんど聴かない」、「4. 聴いたことがない」と回答された方は問5へお進みください。

問3

問2で「1. よく聴いている」、「2. とくとき聴いている」と回答された方にお聞きします。
主にどのような場面で聴いていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 通勤中・通学中 | 2. 作業中・仕事中 |
| 3. 休憩中 | 4. その他() |

問4

問2で「1. よく聴いている」、「2. ときどき聴いている」と回答された方にお聞きします。
コミュニティFM「FMはなび」で、充実してほしい情報は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 料理や買い物等の生活情報 | 2. 行政情報 |
| 3. 地域の情報 | 4. ニュース報道 |
| 5. 趣味・音楽 | 6. 防災情報 |
| 7. その他() | |

問5

緊急時の避難情報や災害情報をどのようにして入手していますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 市ホームページ | 2. 市公式LINE |
| 3. 市公式X(旧Twitter) | 4. 防災ネットだいせん |
| 5. FMはなび | 6. FMはなび以外のラジオ放送 |
| 7. テレビ | 8. 市の広報車、消防団 |
| 9. 家族・親族からの連絡 | 10. 自治会や自主防災組織等の連絡網 |
| 11. その他() | |

テーマ2 地域公共交通対策事業について

市では、地域間を結ぶ基幹路線として路線バスを維持するとともに、地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行することで公共交通の維持確保に努めています。

本調査では、市民の皆さまの公共交通に対するご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。

■ 公共交通の定義：不特定多数の人々が、一定の運賃を支払って自由に利用することができる交通機関

【公共交通システムの一覧】

単位（人）

公共交通システム	内 容	直近1年間の利用者数
路線バス	羽後交通（株）の路線バスで、他市町と大仙市を結ぶ基幹路線や、市内を運行する路線 【運行路線】 ・横手大曲線 ・大曲角館線 ・角館六郷線 ・川西線 ・千屋線 ・稲沢線 ・船岡線 ・淀川線 ・峰吉川線 ・イオンイーストモール線	201,070
コミュニティバス	市営の路線バスで、市内の各地域を結ぶ路線 【運行路線】 ・長信田線 ・杉山田線 ・南外線	34,100
循環バス	決められた時間に決められたルートを走行するバス 【運行地域】 ・大曲駅、市役所周辺を運行。	15,381
市民バス	市の車両を使用した予約専用のバス【指定の停留所で乗降必要】 【運行地域】 ・西仙北地域大沢郷地区～刈和野地区・南外地域外小友地区～南外支所	803
乗合タクシー	予約専用のタクシー【指定の停留所で乗降必要】 【運行地域】 ・大曲地域6路線 ・中仙地域1路線 ・協和地域1路線 ・仙北地域3路線 ・太田地域8路線	9,878
乗合タクシー ドアツードア型	予約専用のタクシー【自宅付近で乗降可能】 【運行地域】 ・神岡地域4路線 ・西仙北地域3路線・南外地域4路線	2,259
中仙乗合自動車	中仙タクシー（資）が独自に運行する乗合タクシー 【運行地域】 ・清水、豊川、豊岡地区～中仙地域中心地、仙北市立角館総合病院	3,211

問1

普段、主にどの公共交通を利用していますか。
あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 路線バス | 2. コミュニティバス |
| 3. 循環バス | 4. 市民バス |
| 5. 乗合タクシー | 6. 中仙乗合自動車 |
| 7. 利用しない | |

→ 「7. 利用しない」と回答された方は問4へお進みください。

問2

問1で「1.2.3.4.5.6.」と回答された方にお聞きします。
公共交通を利用する際、困ることはありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

1. 困ることがある
2. たまに困ることがある
3. 困ることはない

→ 「3. 困ることはない」と回答された方は問4へお進みください。

問3

問2で「1. 困ることがある」、「2. たまに困ることがある」と回答された方にお聞きします。
どのような点を改善や充実すると利用しやすくなると思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 運賃 | 2. 運行本数 |
| 3. 駅や停留所までの距離 | 4. 運行時間 |
| 5. 予約のしやすさ | 6. 運行情報 |
| 7. 乗り換えのしやすさ | 8. バリアフリー対応 |
| 9. スマホ・ICカード決済 | 10. その他() |

問4

市では、公共交通における利用者の減少や運行経費の増加により、利用者負担(運賃収入)だけでは路線の維持が難しいため、毎年多くの税金を投入しています。
こうした状況を踏まえて、今後の公共交通のあり方について、あなたの考えにあてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 利用者負担や財政負担の増加は仕方ないので、今以上に利便性を向上させるべき
2. 利用者負担や財政負担の多少の増加は仕方ないので、これまでの利便性は維持するべき
3. 利用者負担や財政負担を維持したまま、利用者の少ない路線の見直しなどを実施するべき
4. 利用者の少ない路線の廃止や便数の縮小を図り、財政負担を減らすべき
5. 脱炭素社会の視点を含め、市の財政負担を減らすよう市民などが公共交通の利用に協力するべき

問5

今後、公共交通が利用しやすくなる、あるいは暮らしに必要な移動手段を確保していくためには、どのような取組が効果的だと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 乗り放題の運賃制度の導入(月額料金などの定額運賃や定期券等)
2. 乗り継ぎ環境の改善(時刻調整、待合室の整備等)
3. 分かりやすい情報提供(運行経路や運行時刻等)
4. リアルタイムの運行情報の提供(スマホアプリなど)
5. 利便性の高い移動手段の構築(AIオンデマンド交通※1等)
6. 公共版ライドシェア、日本版ライドシェアなどへの取組(移動手段確保の仕組みを構築)
7. スクールバスなどを沿線住民も利用できる仕組みの構築
8. 高齢者や免許返納者等に対する移動支援の拡充
9. 自動運転バスの導入
10. 電動アシスト自転車などの利用促進
11. その他()

※1【解説】AIオンデマンド交通とは

地域特性や一人ひとりの移動ニーズに合わせて、AIが自動的に最適な運行ルートや運行スケジュールを提案することで、移動を効率的に行うサービス。

テーマ3 地球温暖化対策事業について

市では、令和4年3月に市議会と共同で「大仙市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、省エネの推進と最大限の再生可能エネルギーの導入により、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取組を進めています。また、令和6年3月には、大仙市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、市域全体で温暖化対策に取り組んでいくこととしています。

本調査では、市民の皆さまの地球温暖化対策への関心等についてご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。

■ ゼロカーボンシティ推進事業費補助金



■ 食品ロス削減への取組



問！

地球温暖化対策に関心がありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 非常に興味がある
2. 興味がある
3. 少しは興味がある
4. 全くない

問2

地球温暖化による影響として身近に感じていることはありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 農産物の品質・収量の低下
2. 野生鳥獣の生息域変化による人や農産物への被害
3. 自然災害の激甚化・頻発化
4. 悪天候によるイベント等の中止
5. 熱中症など体調への影響
6. エアコン等の使用時間増による家計負担の増加
7. 特に感じていない
8. その他（ ）

問3

ご家庭で地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 1. 太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の設置 | 2. EV・PHEV車の購入 |
| 3. 省エネ家電の購入 | 4. 省エネ住宅へのリフォーム |
| 5. 節電や節水などの省エネ行動の実践 | 6. 食べ残しを減らす等の食品ロス削減対策 |
| 7. ごみ分別やりサイクルの取組 | 8. 生ごみの肥料利用 |
| 9. 地球温暖化に関する講座等の受講 | 10. 運転時のエコドライブ |
| 11. 徒歩や自転車、公共交通機関の利用 | 12. CO ₂ 排出係数が低いクリーン電力の購入 |
| 13. その他 () | |

問4

あなたが地球温暖化対策として新たに取り組みたいことはありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1. 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の設置 | 2. EV・PHEV車の購入 |
| 3. 省エネ家電の購入 | 4. 省エネ住宅へのリフォーム |
| 5. 節電や節水などの省エネ行動の実践 | 6. 食べ残しを減らす等の食品ロス削減対策 |
| 7. ごみ分別やりサイクルの取組 | 8. 生ごみの肥料利用 |
| 9. 地球温暖化に関する講座等の受講 | 10. 運転時のエコドライブ |
| 11. 徒歩や自転車、公共交通機関の利用 | 12. CO ₂ 排出係数が低いクリーン電力の購入 |
| 13. その他 () | |

問5

今後、市が地球温暖化対策として重点的に取り組むべきだと思うことは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 太陽光発電など再生可能エネルギー設備の普及促進 | 2. EV・PHEV車の購入支援や充電環境の整備 |
| 3. 省エネ家電の普及促進 | 4. 省エネ住宅へのリフォーム普及促進 |
| 5. ごみ分別やりサイクルの取組促進 | 6. 食べ残しを減らす等の食品ロス削減対策 |
| 7. 企業の地球温暖化対策支援 | 8. 学校や地域での環境学習・講座等の開催 |
| 9. 家庭や職場で身近に出来る省エネ行動の促進 | 10. 森林環境整備・保全 |
| 11. 大雨や暴風などの異常気象に備えた災害対策 | 12. 熱中症対策 |
| 13. 地球温暖化対策に関する情報発信 | 14. その他 () |